

現行基本計画の構成

京都市基本構想 (2001～2025年)

はばたけ未来へ！ 京プラン 京都市基本計画(平成23(2011)～平成32(2020)年度)

計画の位置付け

- ・ 京都市基本構想に基づく第2期の基本計画(計画期間は平成23(2011)年度から10年間)
- ・ 単なる「行政計画」ではなく、市民と行政が共に汗を流して協働する「共汗型計画」
- ・ 政策の優先順位を明確にし、目標への筋道を示す「戦略的な計画」

計画の背景

基本計画を策定するに当たって、とくに注目すべき社会経済情勢
①人口減少と少子高齢化, ②地球温暖化の加速, ③グローバル化の進展, ④低経済成長と厳しい京都市財政

都市経営の理念

今後10年間にわたって、京都市の都市政策を進めていくうえでの基本となる考え方
生活者を基点に、参加と協働で地域主権時代を切り拓く

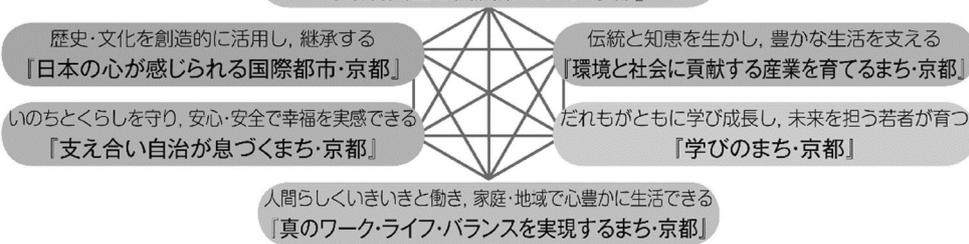
- ・ 地域主権時代の都市経営のあるべき姿は、国の権限と財源の基礎自治体への移譲にとどまることなく、自治体とその主人公たるべき市民が自治意識を共有し、実践する、参加と協働による市政運営とまちづくりを実現することである。
- ・ 財政問題や少子高齢化、地球環境問題など深刻な課題が多くあるが、わたしたち京都市民は、ポジティブ(未来志向)な発想と行動で乗り越え、長年にわたり育んできた美意識や得意技を生かして、生活者を基点とした未来像を共有し、参加と協働で実現への道筋を見出し、共に汗を流して希望のもてる未来を切り拓く。

京都の未来像

10年後にめざすべき
京都の姿

地球環境にくらしが豊かに調和する
「環境共生と低炭素のまち・京都」

以下の6つの未来像は、相互に密接な関連をもち、循環している。



重点戦略

京都の未来像を実現するための方策として、未来像相互の関連性に着目しながら、単一分野だけでなく、複数の行政分野を融合し、とくに優先的に取り組むべき事項

市民ぐるみで、くらしやまちの変化を実現する 「低炭素・循環型まちづくり戦略」	ひとと公共交通を優先する 「歩いて楽しいまち・京都戦略」	歴史都市の品格と魅力が国内外のひとびとを魅了する 「歴史・文化都市創生戦略」	魅力ある地域資源と既存の都市インフラを生かす 「個性と活力あふれるまちづくり戦略」	世界が共感する 「旅の本質を追求する観光戦略」
京都の知恵や価値観を生かした 「新産業創造戦略」	夢と希望がもてる 「未来の担い手育成戦略」	子どもと親と地域の笑顔があふれる 「子どもを共に育む戦略」	仕事と家庭、社会貢献が調和できる 「真のワーク・ライフ・バランス戦略」	だれもが参加したくなる 「地域コミュニティ活性化戦略」
				安心・安全と生きがいを実感できる 「いのちとくらしを守る戦略」

政策の体系

各政策分野における基本方針、現状と課題、みんなでめざす10年後の姿、市民と行政の役割分担と共汗、推進施策

うらおい 1 環境 2 人権・男女共同参画 3 青少年の成長と参加 4 市民生活とコミュニティ 5 市民生活の安全 6 文化 7 スポーツ	活性化 8 産業・商業 9 観光 10 農林業 11 大学 12 国際化	すこやか 13 子育て支援 14 障害者福祉 15 地域福祉 16 高齢者福祉 17 保健衛生・医療 18 学校教育 19 生涯学習	まちづくり 20 歩くまち 21 土地利用と都市機能配置 22 景観 23 建築物 24 住宅 25 道と緑 26 消防・防災 27 くらしの水
---	--	--	---

行政経営の大綱

行財政改革やマネジメントのしくみなど、基本計画全体を進めていくための基盤となる行政経営の方針
①参加と協働による市政とまちづくりの推進, ②情報の公開・共有と行政評価の推進, ③持続可能な行財政の確立, ④一層信頼される市役所づくりに向けた組織の改革と人材の育成, 市役所庁舎の整備

計画の推進

- ① 計画に掲げた政策の推進(・「実施計画」の策定、推進、・「各区基本計画」、「都市計画マスタープラン」等との連携)
- ② 計画に掲げた政策の点検(・政策評価制度の実施、・点検委員会の設置、・実施状況の報告、公表)
- ③ 国や関係自治体との連携

重点戦略とは

京都の未来像を実現するための方策として、未来像相互の関連性に着目しながら、単一分野だけでなく、複数の行政分野を融合し、特に優先的に取り組むべきもの。

<要件>

- ① 未来像を実現するために、特に優先的に取り組むべき政策
- ② 「京都らしさ、独自性」といった都市特性や強みを生かす政策
- ③ 行政だけでなく、市民や企業と「共汗」して推進する政策
- ④ 単一分野だけでなく、複数の行政分野を「融合」した政策

<御検討いただく際の視点・背景>

- ① 未来に種をまく視点
- ② 多様性（性別・世代・属性・京都の外からなど）の視点
- ③ 優先順位・トレードオフではない WIN-WIN を探す視点

